

国際的に重大な油流出事故の 協力と支援の状況

ベルンド・B. E. ・ブルーム
EMSA(欧州海洋安全庁)
汚染準備対策部長



欧州海洋安全庁（EMSA）

背景

- エリカ号事故後
(2002年 EMSA設立、2003年 活動開始)
- プレスティージ号事故後
(2004年新任務「海洋汚染への準備と対応」)
- 複数年次予算
(2007～2013年 予算: 1億5400万ユーロ)



EMSAの目的

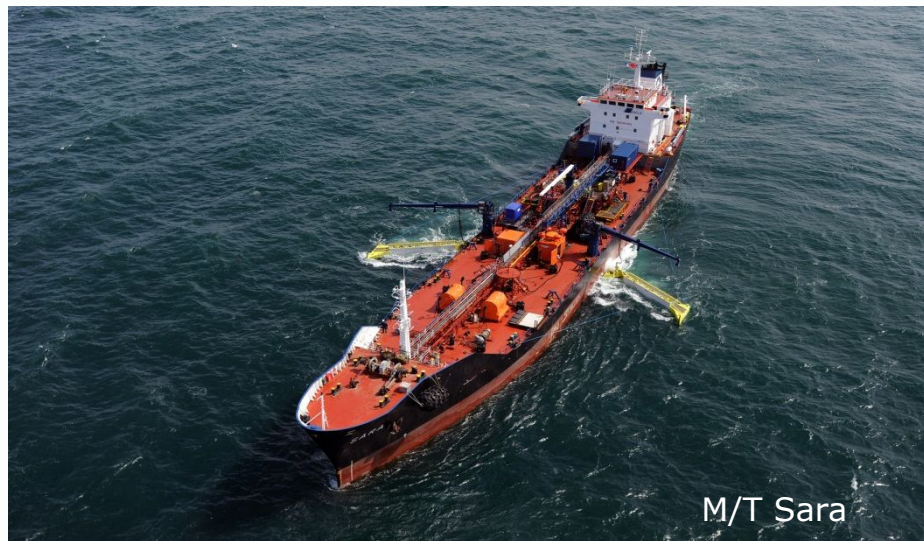
海洋安全、船舶からの汚染防止、船舶安全の分野において、EMSAの主要な目的は以下の通りである

- EU加盟国によるEU海事法の適正な実施を確保する
- 技術協力・開発を促進し、ベストプラクティスを普及させる
- 欧州委員会および加盟国に対して技術的助言を提供する
- EU加盟国の油濁対応能力向上を支援する

メキシコ湾のディープウォーター・ホライゾン(DWH)事故 (マコンド油井事故)対応を支援

- 米国政府とBPを支援するため、全世界から多数の資機材と専門技術が提供された
- EMSAを含むEU加盟国から米国政府への申し出も、米国からの支援要請につながった
- EMSAが提供
 - 最大3隻のフル装備の油回収船
 - オイルフェンス、油回収機などの資機材パッケージ
- 米国沿岸警備隊(USCG)はすべての申し出を評価してから、適切なものとして受け入れた

DWH／マコンド事故対応への支援としてUSCGに提供された船舶



M/T Sara

船舶の諸元

船種	オイルタンカー
貯蔵能力	6658 m ³
長さ	111.30 m
幅	16.50 m
喫水	7.00 m
加熱能力	2394 kW
ポンプ能力	2550 m ³ /h

対応資機材

アーム式掃海回収機

- タイプ: リジッド
- 長さ: 15 m
- 油回収機: 堰／ブラシ

オイルフェンス

- タイプ: 高強度、一点充気式
- 長さ: 250 m × 2基

油回収機

- タイプ: 堰／ブラシ／ディスク

油膜検知レーダー



DWH／マコンド事故対応への支援として USCGに提供された資機材

- フラモ社 トランズレック150油回収機(Hi-wax、堰ヘッド) 2基
- デスミ社 タランチュラ油回収機(堰、ブラシ／ディスクヘッド) 2基



フラモ トランズレック150



デスミ タランチュラ

DWH／マコンド事故対応への支援として USCGに提供された資機材(2)

1000 m高強度オフショア用オイルフェンス

- 250 m ロー・ブーム (エアブロー、パワーパック付) 2基
- 250 m ラモー・ブーム (エアブロー、パワーパック付) 2基



ロー・ブーム



ラモー・ブーム

重要課題(1)

1. 支援の申し出／要請が実際のニーズに対応していないことが非常に多かった
2. 資機材と取扱法について、明確で広く合意された専門用語を制定する必要がある
3. 政治的、商業的、公的なプレッシャーを考慮する必要がある
4. 様々な支援方法: 無償、賃貸、または「中古品と新品の交換」

重要課題(2)

5. 支援の申し出／要請の多様な経路
6. 技術および作業の事項に関する、共通の基準／証明書
7. 合同対応チームでの作業における資機材の互換性(とくに接続部分)
8. 文書化およびメンテナンス／作業日誌が必要

大規模油流出事故発生時の国際支援に関する 新規構想

- DWH事故は、外洋環境での制御不能な油排出への対応における多くの課題を明らかにした
- 事故発生前における計画と調整の重要性が強調された
- 国際的な支援の提供に対する準備が必要であった
- 支援の要請と受入れの手続きが煩雑で非効率的であった

国際支援(2)

問題の精査:

- 2011年のIOPC会議の際に国際専門家の会合を開催
- 参加者は現行の協定や指針について議論し、このテーマに引続いて関与する意向を表明した
- 連絡グループが設置された
 - 米国沿岸警備隊、米国国務省
 - カナダ沿岸警備隊
 - IMO
 - EMSA
 - OSRL

国際支援(3)

- IMO MEPC OPRC-HNS技術グループに指針策定作業を委託
- MEPC 62は2011年7月に受諾
- 連絡グループが作業を開始
 - 3つのサブグループが3つの文書案を作成
(TG 13への提出前に統合の予定)
 - 「キャップストーン」文書(プロジェクトの紹介)
 - 資機材および在庫に関する文書
 - 実地的なパラメータおよび運用手順
 - IMOで議論するため(2012年3月5~9日)、
TG 13へ統合文書を提出

国際支援(4)

予想される今後の作業と成果

- TG 13が提案を受け入れれば、連絡グループ(他地域からの参加増を期待)は国際的支援提供に関する指針の策定作業を開始する
- 予想される最終成果は相互に合意した指針であり、以下を含む:
 - 大規模油流出事故対応資機材の世界的な在庫
(既存の在庫品を利用)
 - 国際的支援の要請、受入れ、提供に関する指針
- この作業は2013年に完了する見通し

欧州における協力システム

現在、加盟国間で3段階の協力／支援が利用可能である

- 二国間および三国間協定（準地域レベル）
 - － 隣接する加盟国間
- 地域協定（地域レベル）
 - － 同一の海域に隣接する加盟国間
- EMSA（汎欧州レベル）
 - － 全EU加盟国およびENP加盟国が対象

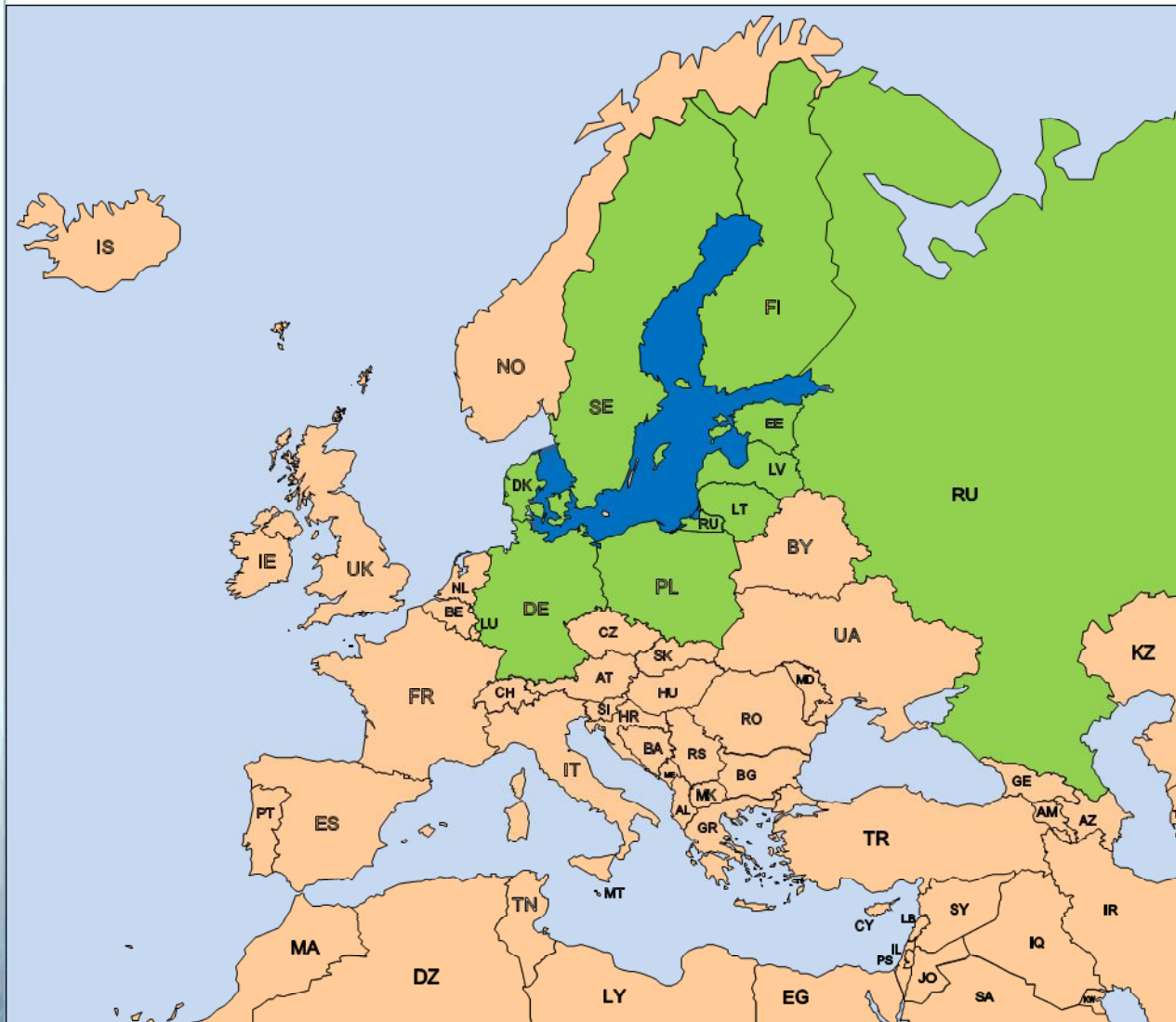
欧州における二国間および三国間協定

- 欧州における多数の二国間および三国間(準地域レベル)協定の一例
 - ラトビア、ロシア、ポーランド(バルト海東南部)
 - SWEDENGER (スウェーデン、デンマーク、ドイツ)
 - DENGERNETH (デンマーク、ドイツ、オランダ)
- 1つの国が複数の協定の締約国である場合
例えばフランスは以下の締約国である
 - イギリス・フランス間のマンシュ計画(イギリス海峡)
 - フランス・スペイン間のビスケー計画(ビスケー湾)
 - フランス・スペイン間のリオン計画(リオン湾)

ヘルシンキ条約(HELCOM)

バルト海の
海洋環境保護に関する
ヘルシンキ条約

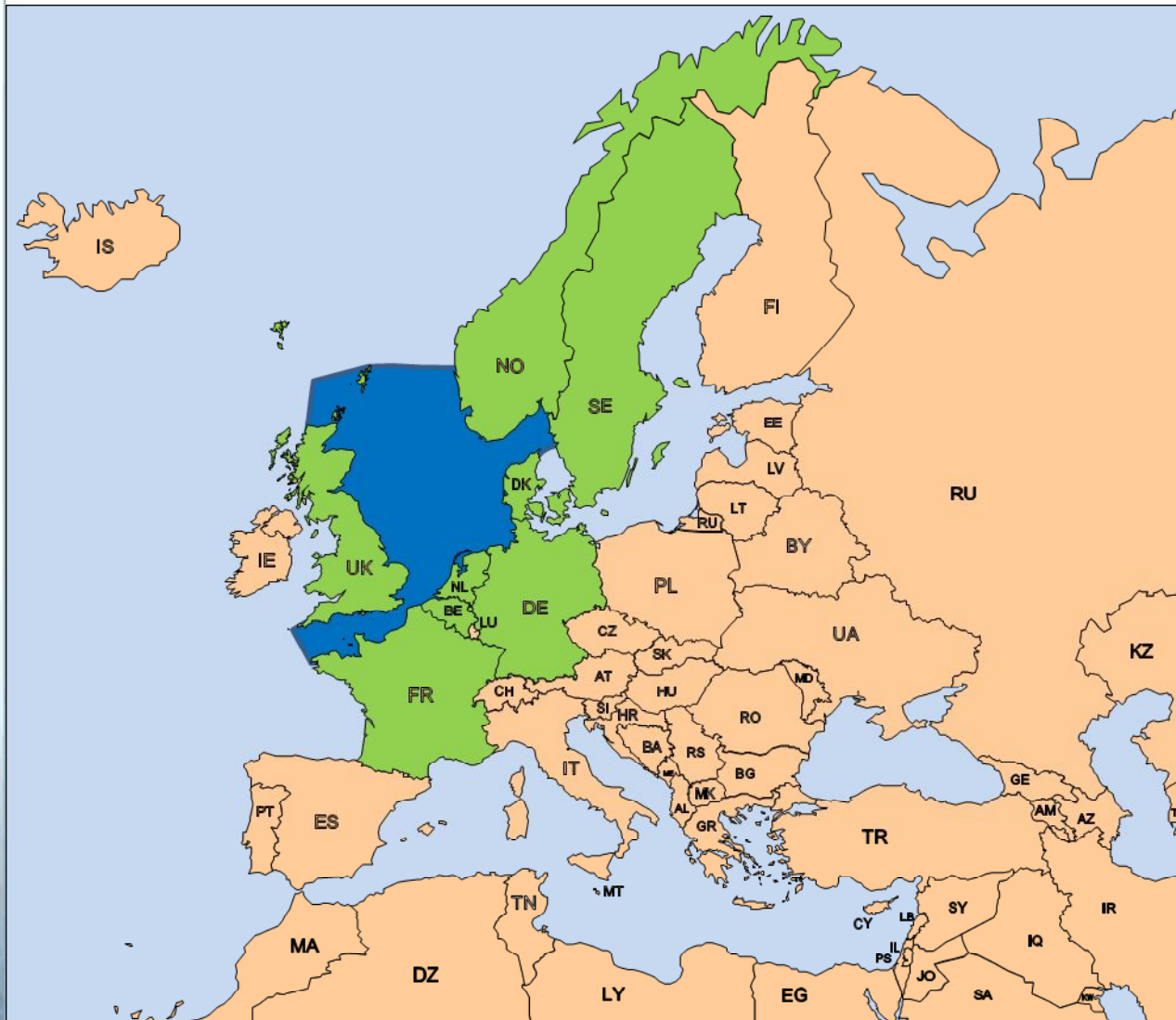
www.helcom.fi



ボン協定

北海における
油汚染対応での
協力に関するボン協定

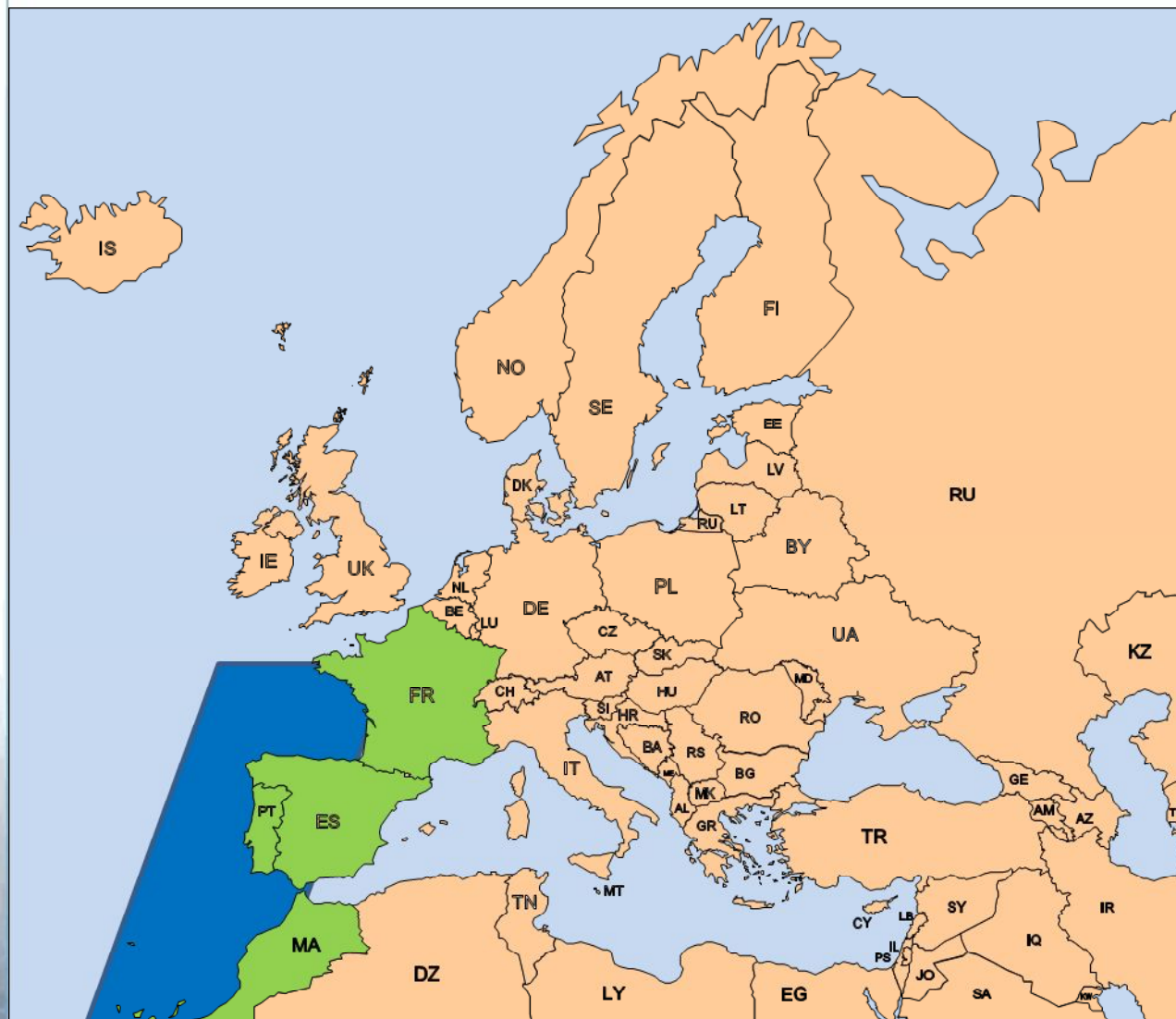
bonnagreement.org



リスボン協定

汚染に対する北東大
西洋の保護に関する
リスボン協定

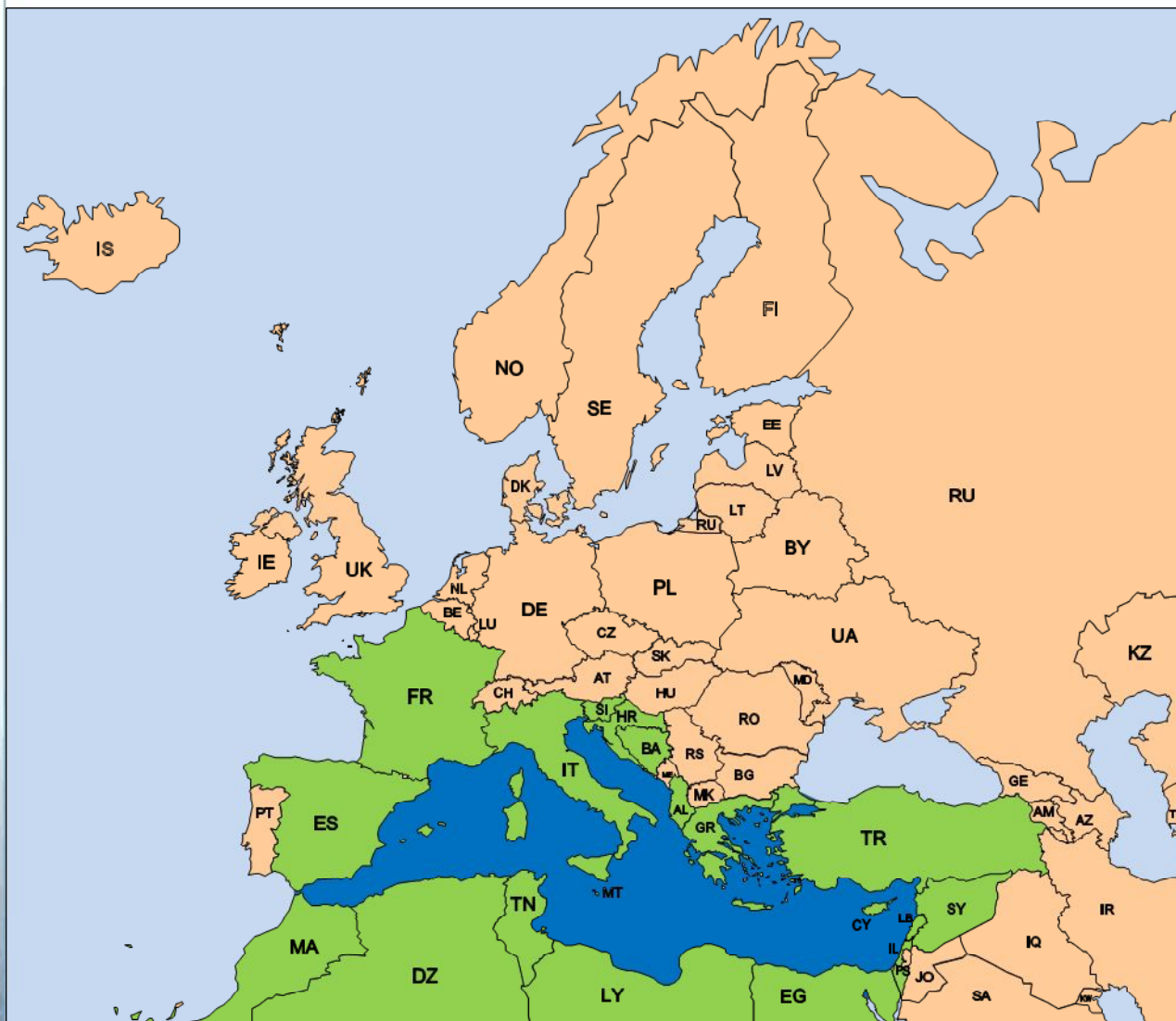
lisbonagreement.org



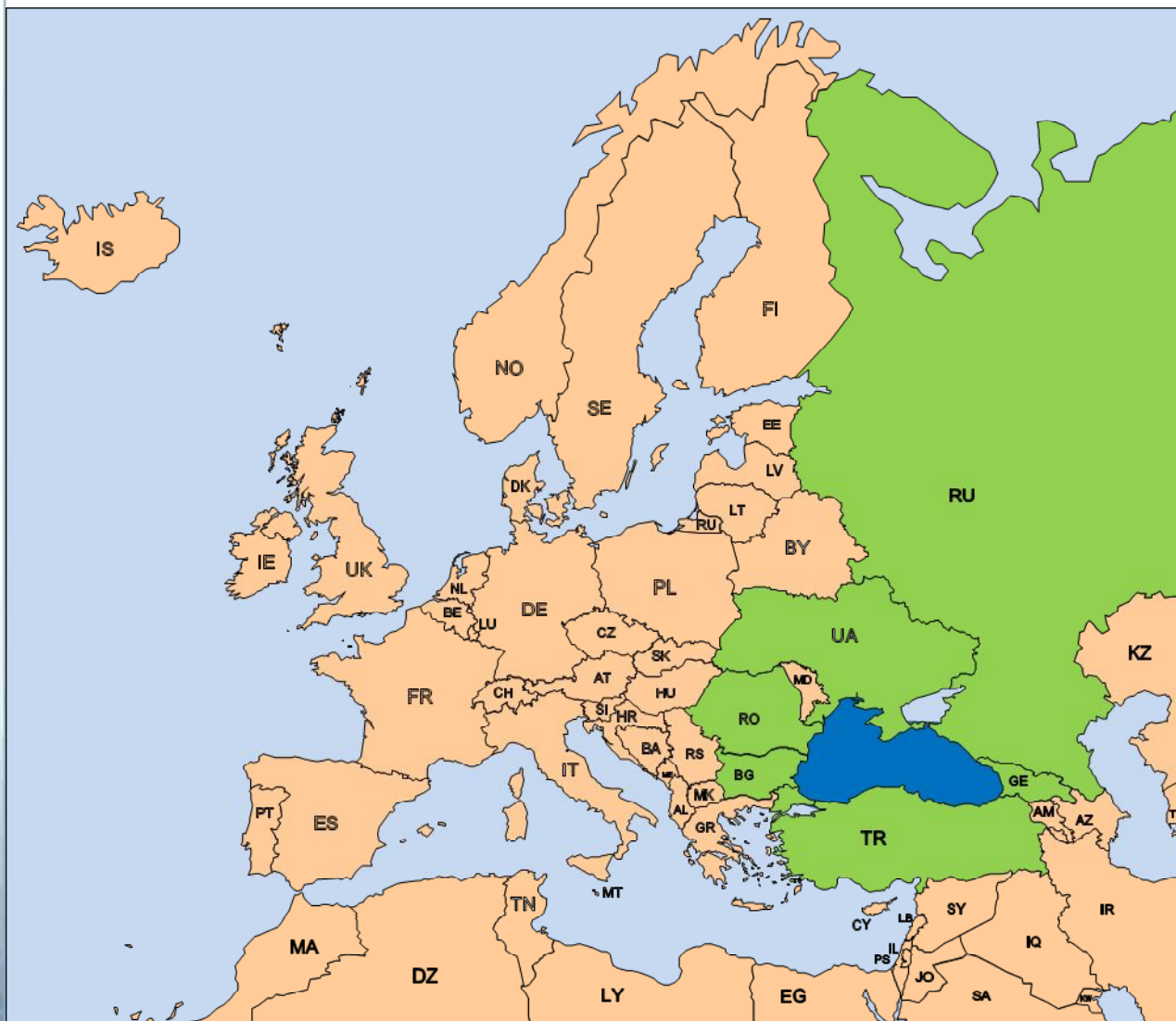
バルセロナ条約(REMPEC)

地中海の保護に関する
バルセロナ条約

www.rempec.org



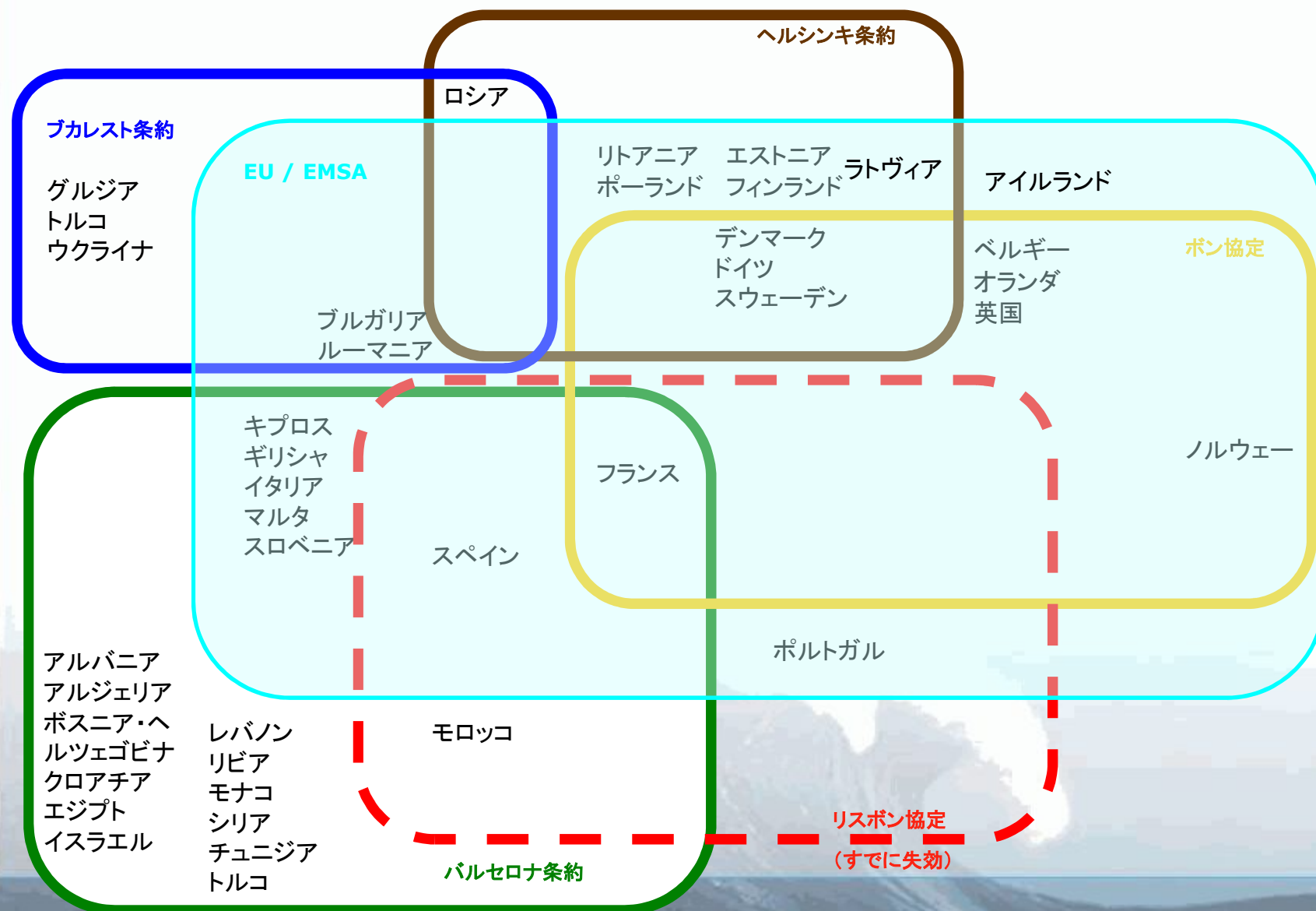
ブカレスト条約



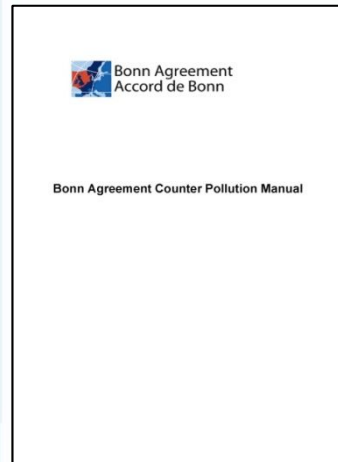
汚染に対する黒海の保護
に関するブカレスト条約

www.blacksea-commission.org

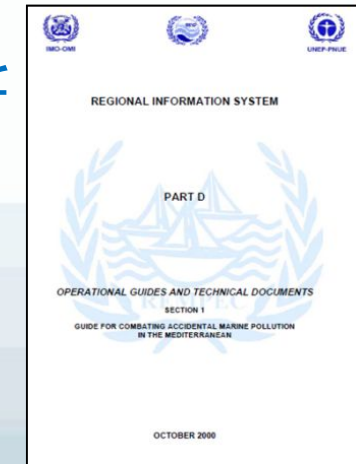
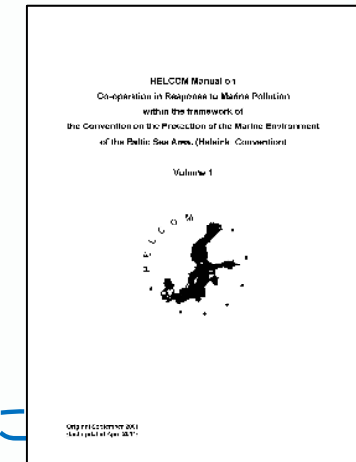
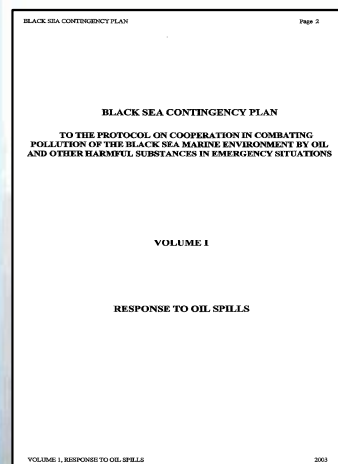
欧州における地域協定(2)



二国間および三国間協定または地域協定で策定された手順



- 汚染対応のマニュアルまたは指針が公表されている
- PolRepシステム (PolInf、PolWarn、PolFacを含む) が完全に実施されている
- 多くの出先機関が支援、作業管理、弁済等に専念している
- 定期的な年次通知または種々の関係団体との操作演習



欧州海洋安全庁(EMSA)

EMSAは下記により欧州全域への支援を提供している

- 待機流出油回収船のネットワーク
 - 欧州沿岸に装備船舶 16隻
 - 外洋型オイルフェンス(各500 m) 19セット
 - 高性能マルチスキマー(200/400 m³/h) 3基
 - 外洋型スキマー(125 m³/h) 18基
- 専門家サービス
- クリーン・シー・ネット・サービス(衛星画像)
- MAR-ICE



ご清聴
ありがとうございました

詳しい情報は下記へ

<http://www.emsa.europa.eu/operations/marine-pollution/network-of-stand-by-oil-spill-response-vessels.html>

